

平成 29 年度

安全講習会「チェーンソー入門講座」実施報告書（1）

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	安全講習会「チェーンソー入門講座」 講義：「チェーンソー入門講座・安全講習」 実習：「チェーンソーの整備と目立て・玉切り・水平切り」
日 時	平成 29 年 8 月 5 日（土） 10：15～16：00
会 場	千葉県林業サービスセンター 研修室
出席者	受講生 15 名（8 市）・講師 1 名・スタッフ 2 名
内 容	10：15～12：00 講義：「チェーンソー入門講座・安全講習」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏 13：00～15：00 「チェーンソーの整備と目立て・玉切り・水平切り」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏 15：00～16：00 質疑 「チェーンソーのメンテナンス」
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・安全講習会チェーンソー入門講座は県内 8 市から 15 名が参加した。 ・午前中の座学は、はじめに、林業に従事して 40 年、無災害でやってきた先輩から聞き取った作業心得 12 項目について学習した。 ・段取り八分が私の信念、決められたことを決められたとおりに実行すれば災害は防げる、山を甘く見るな、安全をつねに心がける、見込み作業はしない、呼子の携帯など、作業の心得を短文に盛り込んであり、作業にあたってのスタンスを確認した。 ・次に、林業労働災害による死亡事故について、平成 28 年度、41 件のうち伐採作業中の事故が 26 件と 6 割超で、うち 12 件がかかり木処理の事故となっている。 ・木村講師は、かかり木処理の数例を参加者に示した。また、元玉切の経験の有無を聞き、手の上がった数人に、元玉切禁止の指導を徹底するよう呼び掛けた。 ・テキストに目を移し、ヘルメット、防護服、防振手袋などの服装と保護具、受け口切り、追い口切りなど伐木作業の手順等を学習し、休憩後、ビデオを視聴して、講義内容をまとめた。 ・参加者から、途中から折れて、枯れた倒木の伐木作業の質問に講師が応じ、その他にもフィールドでの課題の質問が相次いだ。 ・午後の講義はチェーンソーの手入れ（分解・掃除、目立て）に入った。 ・ソーチェーンを外し、スプロケットを確認、燃料、オイル、フィルターの掃除を行った。 ・燃料とオイルを確認し、チェーンソーを始動した。その後、玉切り、水平切りを実践し、チェーンソーの切れ味を確かめた。 ・水平切りでは切り跡が斜めになり、伐木作業の難しさが目の前で明らかになった。 ・参加者からの声 ・「分解は一年ぶり、分解すると自分で組み立てられないので入門講座に応募した」 ・「自宅周りでチェーンソーを使用、自分流なので、分解、掃除、メンテナンスを覚えに来た」 ・「プラグさえ外したことがなかった。講座が役に立った」 ・チェーンソー、防護服などの価格帯の質問があった。

添付資料（写真）





ソーチェーン取り外し



清掃作業



目立てはこのように



玉切り



今ひとつ切れない



水平切り決まりました